

## ドルインデックス

- ※ 2001 年高値(121.00) 起点とした下落変動は三段下げの形で 2008 年安値(70.79)をもって終了し、大型のトライアングルの形成をもって底打ちを図る。
- ※ 5 月安値(72.70)を起点とした切り返しはトライアングルの下限を確認した形となり、図示のように、38ヶ月サイクルは 5 月安値をもって底打ちした公算。
- ※ 5 月安値をもってジグザグ型変動パターン d の終点に達成し、足元では e 波を展開する途中で、10 月 3 日高値からの急落はあくまで調整的な値動き。
- ※ 74 レベルは重要なサポートポイント、ドルインデックスの調整はそろそろ一服。80 関門のブレイクに向かい、再度リバウンドしてくるだろう。ただし、83/84 のトライは年越しか。



### ドルインデックス 週足

抵抗:	76.66	79.85	80.00
支持:	73.96	72.70	70.82

## 米ドル/円

- ※ 07 年高値(124.18)を起点とした下落変動は 5 波構造を持ち、現在最終段階の E 波変動に位置する。
- ※ 08 年高値(110.68)から大型「下落ウェッジ」といったフォーメーションを形成し、E 波の終点と同フォーメーションの下限に合致すれば、73/74 円台は当面のターゲット。
- ※ 今年高値(85.52)を起点とした下落変動も同じく 5 波構造を持ち、80.23/25 を上回らない限り、74 前半まで下値打診の余地。
- ※ 本日、日銀の介入がどこまで効くかは不透明だが、介入によって前記「下落ウェッジ」型の早期打破に繋がる可能性がある一方、介入の反動で 74 円台以下の安値トライもあり得る。

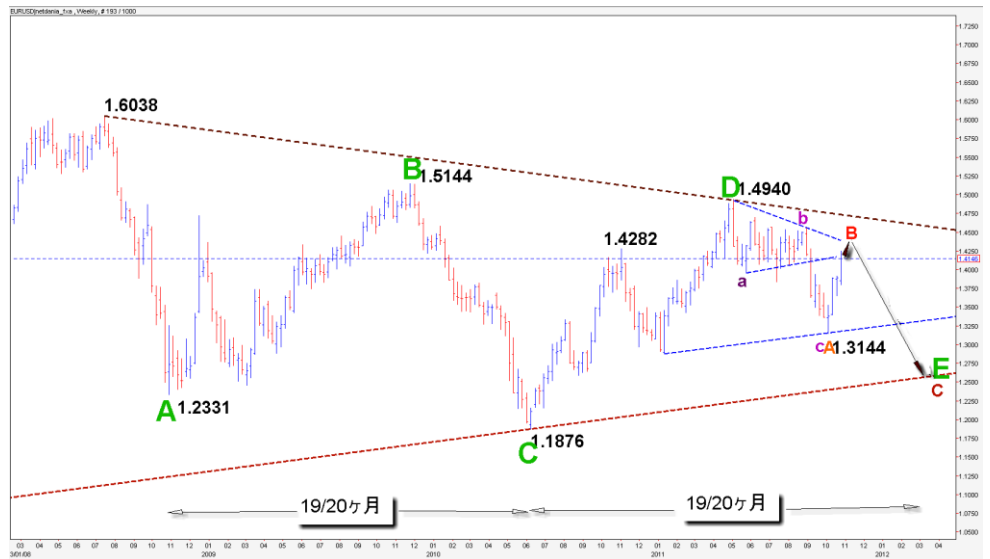


### 米ドル/円 週足

抵抗:	80.25	83.05	85.32
支持:	75.57	74.20	70.15

## ユーロ/米ドル

- ※ 08 年高値(1.6038)をもってユーロは 16~17 年サイクルのトップアウトを果し、2015~16 年まで安値探る展開に。最終的にはパリティ以下を目指すだろう。
- ※ 08 年高値を起点とした大型シグザグ型変動は大型トライアングルを形成し、今年高値をD波の終点と見なした場合、足元をE波下落トレンドに位置付ける。図示のサイクルの示す通り、来年 2~3 月前後に 1.2600 前後をトライ。
- ※ 5 月高値(1.4940)を起点とした下落変動はA-B-Cの三段構造をもって昨年安値の下回りを目指すが、1.3144 を起点とした調整波(B波)は最大 1.4420 まで切り返しの余地を拓くか。
- ※ とは言え、調整波であるだけに、1.4500 以上の上値余地を拓かず、早晩頭打ちし、1.4940をヘッドと見なす「三尊型」の形成をもって、より強いベアトレンドを展開する公算。

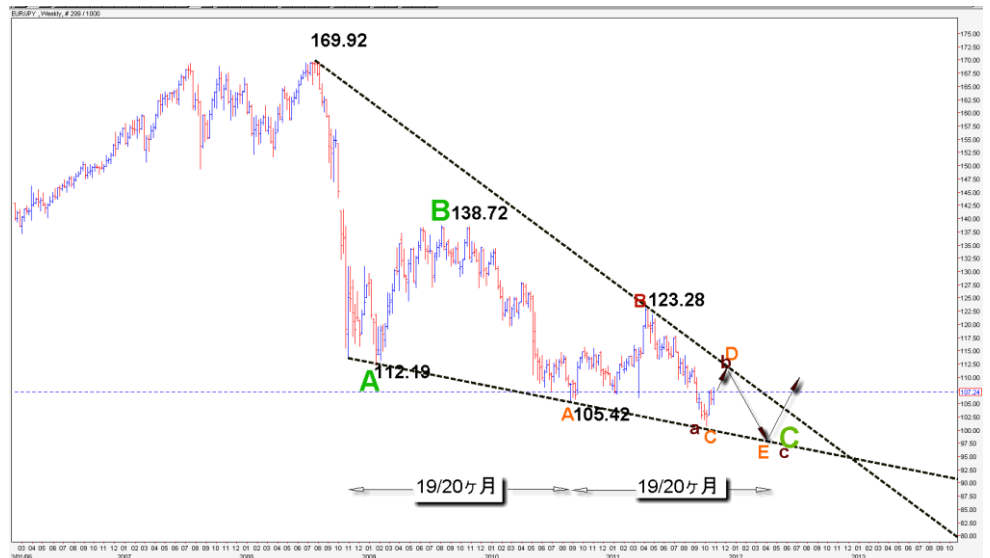


ユーロ/米ドル 週足

抵抗:	1.4345	1.4515	1.4940
支持:	1.3665	1.3320	1.3145

## ユーロ/円

- ※ 08 年高値(169.92)を起点とし下落変動は大型三段下げのパターンを示し、現在そのC波の途中と位置づける。図示のサイクルの通りなら、C波の終点は来年 3~4 月前後に出現する公算。
- ※ 10 月 3 日安値の 100.75 は 09 年安値から引かれたサポートラインに合致、08 年高値から形成された大型「下落ウェッジ」の蓋然性を示唆。
- ※ 本日、日銀の介入もあり、大型シグザグ型変動に沿ったD波変動は 114/115、あるいは 117 前後まで切り返しの余地を示唆するが、118 の突破なしではいずれ頭打ちして再反落の公算。
- ※ その後、「下落ウェッジ型」の指示通り、E波の下落波をもって同フォーメーションの下限をトライ。安値更新があれば、最大 97 年台まで下値トライを続けるだろう。しかし、その後のリバウンドは本格化し、円高トレンドの終焉を告げる公算。

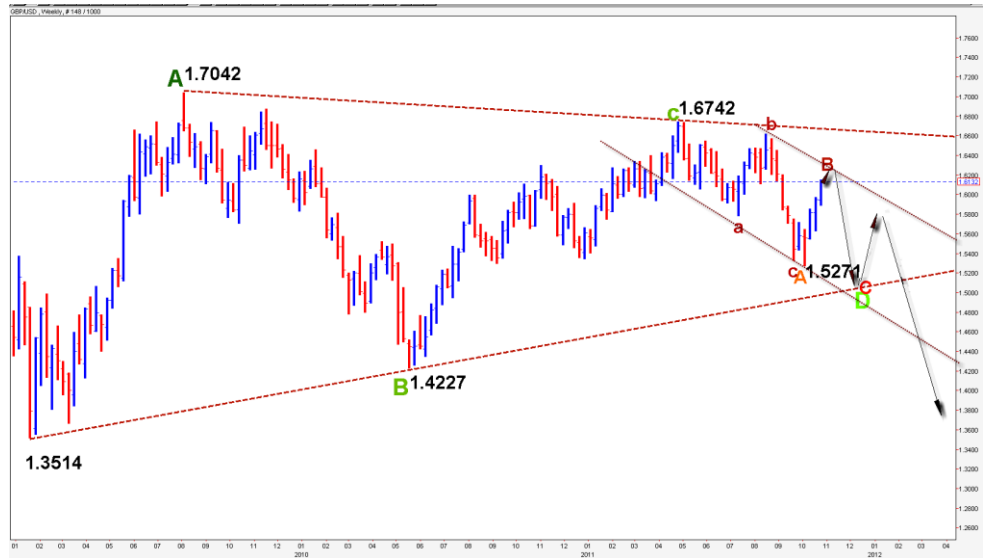


ユーロ/円 週足

抵抗:	114.35	115.15	117.75
支持:	107.00	105.33	100.75

## 英ポンド/米ドル

- ※ 09 年安値 (1.3514) から大型トライアングルを形成し、足元ではその D 波下落変動に位置し、早ければトライアングルの下限をトライしよう。
- ※ D 波変動の終点は最低でも前記トライアングルの下限となり、場合によって一気に昨年安値 (1.4227) を下回ることもあり得るが、トライアングル内におけるジグザグ型変動がなお続くか。
- ※ 1.5271 を起点とするリバウンドが調整波 (B) であるだけに、強くも 1.6300 以下に制限され、そろそろ頭打ちとなり、下落トレンドへ復帰。
- ※ 大型トライアングルが守られれば、再度その上限をトライし、E 波のターゲットを完成してから昨年安値を目指す可能性があるものの、ベアトレンド自体を否定できず、早晚 09 年安値に接近。



### 英ポンド/米ドル 週足

抵抗:	1.6150	1.6314	1.6635
支持:	1.5700	1.5270	1.5030

## 英ポンド/円

- ※ 07 年高値 (261.11) を起点とした下落変動は 5 波構造を持ち、09 年高値 (163.07) から継続された下落チャネルに沿って、なお 5 波の途中と見る。
- ※ 123.50 のブレイクをもって 140.02 を起点とした下落チャネルの上放れを示し、日銀の円売り介入もあって、最大 130.80/131.20 前後までリバウンドが続く。
- ※ とは言え、調整波であるだけに、09 年高値から引かれた下落チャネルを修正できず、早晚頭打ちしてからベアトレンドに復帰。117 割れをもって同チャネルの下限をトライ。
- ※ 5 波の波長が 1 波値幅と同じの計算では、約 104 前後はターゲットとなり、それをもって円高時代を終了させ、140 のブレイクをもって円安変動に入る。



### 英ポンド/円 週足

抵抗:	128.50	131.20	135.15
支持:	119.23	116.97	110.15

## 豪ドル/米ドル

- ※ 01 年安値を起点とした大型上昇ウェーブはA-B-Cの三段上げパターンを示し、7 月 高値 (1.1080) をもってそのC波の頂点を達成下公算。
- ※ 08 年安値 (0.6007) を起点とした上昇変動は 5 波構造をもって 1.1080 にてトップアウトの蓋然性を示し、今後反落トレンドに展開しやすい。
- ※ 0.9780 からの切り返しは 0.6007 から引かれた上昇チャンネルと合致したが、調整波であるだけに、強くも 1.0885 以下に留まる公算。
- ※ 切り返しが急であっただけに、頭打ちした後の反落も早いスピードをもって比較的短期間にて 0.9000 関門割れを試し、年明けには 0.9700 前後の安値をトライしよう。



豪ドル/米ドル 週足

抵抗:	1.0885	1.1080	1.1300
支持:	0.9920	0.9380	0.9000

## 豪ドル/円

- ※ 4 月高値 (90.03) をもってB波のトップを形成し、07 年高値 (109.90) を起点としたA-B-Cの下げパターンに復帰。
- ※ 足元ではC波下落の進行中に位置し、昨年 5 月安値 (71.86) 割れをもって 60 関門に迫る。C波自体は 90.03 を起点としたA-B-Cの三段下げパターンをもち、目下そのB波の反騰に位置する。
- ※ 72 からの切り返しは強く、日銀の円売り介入と相まって、再度 07 年高値から引かれた抵抗ラインをトラする可能性も浮上してきたが、ソーサトップの形成をもって再度頭打ちの公算。
- ※ ただし、09 年安値をもって豪ドルはすでに底打ち下公算が高く、C波の進行がA波を下回らず、その後円安変動を展開しよう。



豪ドル/円 週足

抵抗:	85.00	88.89	90.03
支持:	76.68	71.86	68.26